

◆次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

太公初娶馬氏。読書不事産。馬氏求去。太

妻にした。

本を読んではかりで働かないでいた。

離縁することを

1

公封齊。馬氏求再合。太公取水一盆。傾于地。

齊の国を領地として与えられた。

再婚することを求めた。

水を鉢に注いで

地面にこぼし、

令婦収水、惟得其泥。太公曰、「若能離更合、覆

一度別れて再び（私と）復縁できると考えているが、

水定難収。」  
こぼれた水は（元の鉢に）戻せはしないのだ。」と。

# 語注

\*太公：春秋時代の人。太公望呂尚。

\*馬氏：呂尚の妻。

\*齊：春秋時代の国。

問1 傍線部の解釈として最も適当なものを次から選べ。

- ア 婦人にこぼれた水をすくわせたかったが、すでに泥水だけになっていた。  
イ 婦人はこぼれた水をすくったが、ただ泥水だけしかすくえなかった。  
ウ 婦人はこぼれた水をすくったが、すでに泥水になってしまっていた。  
エ 婦人にこぼれた水をすくわせたが、ただ泥水をすくうだけだった。

問2 本文の主題として最も適当なものを次から選べ。

- ア こぼれた水は二度と元に戻らないのと同じように、一度してしまったことは取り返しがつかないということ。  
イ 一度別れた夫婦は二度と復縁しないものだから、実際に夫婦生活を送るには互いに我慢が必要だということ。  
ウ こぼれた水は二度と元に戻らないのと同じように、たった一度のチャンスを失うと二度と好機は巡ってこないということ。  
エ 一度別れた夫婦は二度と復縁できないものだから、よほどの出来事がない限り夫と別れてはいけないということ。

12

復習

「韻府群玉」

名前

年

組

番

正答数

8

検印

句形Q

傍線部について、書き下し文を本文横の□に記せ。

省略Q

点線部の左横の□に省略された語句を記せ。（本文中の語句で答えること。）

太公初娶馬氏。読書不事産。馬氏求去。太

主語  
は

目的語  
に

1

公封齊。馬氏求再合。太公取水一盆。傾于地。

目的語  
に

書き下し文

令婦収水、惟得其二泥。太公曰、一若能離更合、覆

水定難収。

語句Q

波線部⑦の読みを、送り仮名も含めて平仮名で答えよ。（現代仮名遣いで答えること。）あわせて、本文中での意味を答えよ。

⑦読み 意味  
①読み 意味

☑その他の覚えておきたい語・句形

令A B しム

読AにBさせる

惟A

読ただAだけ